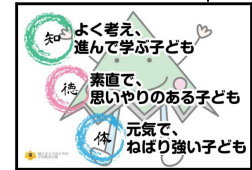




川内小学校だより

ゆずり葉

第13号
令和2年12月17日
桐生市立川内小学校発行



2020年を振り返るとー

令和2年度は、2月頃から新型コロナウイルスの報道が飛び交う状況を引きずりながら、4月・5月は臨時休業という措置を取ることとなった年度はじめてでした。誰もが予想していなかったことが起こり、教育現場も様々な情報に揺れ動きつつも、それでもできることは全てやっつけようと取り組んできました。6月から学校が再開されましたが、行事や活動については縮小や削減を余儀なくされるなど、大変心苦しい日々を送ってきました。

こうした中でも、救われたことは子どもたちの笑顔や明るく生き生きと過ごす姿でした。大人よりも柔軟な子どもたちは、新しい生活スタイルに順応するのも早かったようです。四六時中マスクを付けたままの生活スタイル、活動を終えるごとの手洗いなど、習慣化している様子を見ていると大したものだなと思います。ただ、子どもなので、ソーシャルディスタンス・フィジカルディスタンスの面では、時々声をかける必要があります。お友達とのやりとりの中、つい夢中になって大声になってしまったり、身体が近付き過ぎたりする場面も少なくありません。これに関しては、各学級でも大声を張り上げないことや、「密」を避ける工夫をすることは声を掛け続けてきているところです。

最近の感染関連の報道からは厳しい現状を感じます。いつ、誰が感染してもおかしくない状況です。ご家族や近い間柄の中でも濃厚接触者が出る可能性は否めません。こうした中、最も大切にしたいことは、風評被害的な辛い思いをするご家庭を出さないということです。人によっては、恐怖心から心配な噂に対して、極端な反応をする人がいます。時にそれが当該者を大きく傷つけることとなります。

“そこでぜひ、ご理解ください。”

これを避けるため、市内各学校では、“自校で「感染者が出た・出ていない」「PCR 検査を受けた児童がいる・いない」などについてはいずれもお答えしていません。これらの問い合わせには、外部の方はもとより保護者であっても回答を控えさせていただくこと、ご理解いただきたく思います。

【お願い】

新型コロナウイルス感染症にかかわり、同居のご家族に濃厚接触、または PCR 検査の該当者が出た場合、お子さんの登校を控えるようお願いしてきました。（これに該当するケースが生じましたら、分かった時点でご連絡をいただきながら、何点かの聞き取りにご協力願います。）

現在、さらに警戒レベルが上がったため、上記のケース以外でも、ご家族に高熱や心配な症状がある場合、お子さんの登校を控えることについて、ご理解・ご協力をお願いします。

学校で保管していた「マウスシールド」について（「ゆずり葉」第10号にてご紹介のもの）

子ども会育成団体連絡協議会よりいただいた「マウスシールド」ですが、音楽等での有効活用を試みてきました。ところが警戒レベルが上がり、教育現場のいずれの場面でも活用が難しくなりました。そこでご家庭にて活用いただければと考え、各学年とも近々、持ち帰らせるようにします。3学期以降も学校での使用はありませんので、そのままご家庭にてご使用・保管下さい。

「教育文化作品展」の中止に伴い、「校内作品展」に。

毎年、桐生市内小学校・中学校・特別支援学校の児童生徒の作品展として、市民文化会館展示ホールで、大々的に「教育文化作品展」が開催されてきましたが、今回は早々に中止が決定されました。「作品展そのものは開催可能」と判断されたものの、毎年7000名程度の来場者があり、これを想定した時、感染症対策の面から対応しきれないと判断されました。

学校公開を挟んで11月に行った校内の作品を見ていただき、多少例年のレベルまでには至っていない様子も感じられたことと思います。平面作品においては、どの学年も発達段階に応じた彩色指導により、習熟していくところですが、今年度は4・5月の休校期間の影響で、該当学年のねらいに応じた彩色技法を身に付ける機会が失われたため、2学期の制作においてぶっつけ本番的になってしまったところが大きく影響しています。これについては、ご理解いただけるかと思いますが、子どもたちなりに集中して取り組み、仕上げた作品として評価していただけると幸いです。



「よいお年をお迎え下さい。」

今年も残りあと2週間となりました。よい年の瀬を過ごし、心穏やかに年越しをしたいものです。

これまで何も気にとめずにきていた「普通のこと、当たり前のこと」、このことが様々な面で制約される現状の中、改めてこの「普通のこと、当たり前のこと」について、その有り難さが身に染みることとなりました。皆様同様、学校教育現場としても、できることなら制約のある今の生活ではなく、それ以前の生活に戻れる日が1日でも早く来ることを願っております。